

大崎地域を世界農業遺産へ

vol.3 里地・里山の保全と大崎耕土の恵み①

大崎地域は、厳しい農業条件ながら巧みな水管理と農業技術によって豊穡の大地「大崎耕土」を築いてきました。大崎地域の世界農業遺産(GIAHS)の大切な要素である「大崎耕土の恵み」を紹介していきます。

□大崎地域の「居久根(いぐね)」とその恵み

大崎地域には、住宅を包み込むように配置された「居久根」という屋敷林が数多く見られます。

広大な水田に浮かぶように点在する居久根は「水田の中の小さな森」として、わたしたちの生活に豊かな恵みを与えています。

居久根は、江戸時代から手厚く保護され、防風林のほかに、次のような機能があります。

- ▶ 燃料となる落ち葉や小枝を供給する機能
- ▶ 洪水時に流木などから住宅を守る機能
- ▶ 多くの生きものたちの命を守り育む機能(生物多様性の保全) など

次世代を担う子どもたちに伝え、残したい大崎地域の大切な宝です。



居久根の生きものたち(左:アサマイチモンジ、右:トラツグミ、下:ジョウビタキ) 大崎市古川地域

世界農業遺産勉強会(第3回)「生きものと田んぼのつながり」

日時: 10月3日(土) 9時30分~12時
 場所: 上野目地区公民館(岩出山地域)
 講師: 神宮字 寛氏(宮城大学食産業学部准教授) ほか
 定員: 50人
 申込: 10月2日(金)まで、電話またはEメールで申し込み



【問い合わせ先】産業政策課
 世界農業遺産推進室
 ☎ 23-2281
 sangyo@city.osakimiyagi.jp

宿泊券の販売

販売開始 10月1日(休)から
 販売価格 5,000円の宿泊券2枚で1セット(額面1万円分)を5,000円で販売
 販売方法 ①大崎商工会、玉造商工会など複数力所で販売予定
 ②コンビニエンスストア「ローソン」のローソンチケットで抽選による発券
 販売場所 決まりしだい、チラシやポスター、みやぎ大崎観光公社ウェブサイトなどでお知らせ
 購入制限 一人2セット(額面2万円分)まで
 利用期間 11月1日(日)~2月29日(月)まで
 利用方法 1回の宿泊料金の支払い時に一人2枚(1万円分)まで使用可能

クーポン利用によるインターネット宿泊予約

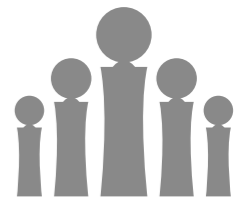
予約開始 【第1弾】9月7日(月) 10時~ 【第2弾】11月30日(月) 10時~
 割引内容 ①大人1人以上で10,000円以上の宿泊に使える5,000円割引クーポン(第1弾:100予約分・第2弾:100予約分)
 ②大人2人以上で20,000円以上の宿泊に使える10,000円割引クーポン(第1弾:500予約分・第2弾:300予約分)
 ③大人4人以上で40,000円以上の宿泊に使える20,000円割引クーポン(第1弾:25予約分・第2弾:25予約分)
 予約方法 楽天トラベル(<http://travel.rakuten.ne.jp/>)からクーポンを取得し、宿泊したい本事業参加宿泊施設にクーポンを使って予約。
 ※クーポンを使った予約には、利用上限(予約成立順)があり、上限に達した時点で利用できなくなります。クーポンを取得したら、早めの予約をおすすめします。
 ※問合せ: 楽天トラベル ☎050-2017-8997 平日9時から18時まで
 購入制限 1つの「会員ID」での利用回数は各クーポン1回まで
 利用期間 第1期: 11月1日(日)~1月3日(日)のチェックアウトまで
 第2期: 12月28日(月)~2月29日(月)のチェックアウトまで
 利用方法 宿泊料金支払い時に割引後の料金を支払う

■事業参加宿泊施設 ※平成27年8月11日現在
 久田旅館、旅館三之巫湯、旅館紅せん、鳴子ホテル、旅館大沼、旅館ゆさ、大新館、越後屋旅館、ペンションアルピーヌ、いさげん旅館、鳴子観光ホテル、鳴子パールホテル、勘七湯、旅館すがわら、鳴子旅館、扇屋、ペンションサンモリッツ、東多賀の湯、かむろ荘、元湯自炊まるみや旅館、義経ゆかりの湯姥の湯、旅館なんぶ屋、民宿旅館二宮荘、山ふところの宿みやま、生蕎麦旅館 登良家、仙庄館、西多賀旅館、ペンションふうらいば一、四季の宿花洲荘、ホテルニューあらお、弁天閣、鳴子湯乃里幸雲閣、鳴子湯乃里幸雲閣(別館)、湯の調吟の庄、四季の宿ますや、ホテルオニコウベ、玉造荘、湯あみの宿ぬまくら、ゆさや旅館、ホテル亀屋、なかやま山荘(順不同)
 ※ネット予約ができない宿泊施設もありますので、各宿泊施設に確認してください。

■11月1日以降、宿泊券またはクーポン利用者でアンケートに回答した先着6,000人に、今秋市場デビューする新品種米「ささ結」を贈呈します。
 ■宿泊券とクーポンの併用はできません。
 ■宿泊券の転売は厳禁とします。

おおさき鳴子温泉郷 宿泊券を販売します

地方創生「おおさき元気戦略」で、大崎の「宝」満喫!



国の「地域消費喚起・生活支援型交付金」を活用し、地方創生「おおさき元気戦略」の一環として、おおさき鳴子温泉郷宿泊券を販売します。

大崎の「宝」に触れ、その魅力を感じてもらうことで、より多くの皆さんに何度でも足を運んでもらうきっかけとなり、消費喚起に結びつくよう、鳴子温泉の宿泊施設で利用できる、5割引宿泊券の販売と、インターネットからの宿泊予約により宿泊料が最大5割引になるクーポンを発行します。

◎みやぎ大崎観光公社 ☎25-9620
 観光交流課 ☎23-7097

市長コラム

天・地・人

ささ結(むすび)デビュー

日本はアジアモンスーン気候に恵まれた豊葦原瑞穂国、稲作文化が開花した国です。

7月下旬、四国の高知県や愛媛県を訪れる機会がありました。なんとその時期に、四国では稲刈りが始まっています。小さな島国ではありますが、南北に長い日本列島は、季節感も多様に満ちていることを実感しました。

かつては、冷害、水害干害で悩まされた東北地方の稲作も、今や美味しいお米の一大産地。その中でもわが大崎地方は、大崎耕土と称される豊穡の里であり、ササニシキ・ひとめぼれ誕生の地です。好天に恵まれた今年も、間もなく収穫の時期を迎え、美味しい新米が堪能できそうです。

旅に出ると、あらためて大崎の食材、特にお米のおいしさを再認識される人も

多岐ことでしょう。そんなお米のおいしい大崎で、今秋、期待の新品種である東北194号「ささ結(むすび)」が市場デビューします。

ササニシキとひとめぼれが結ばれ、あっさり、ふっくらとした食感のさわやかなお米です。特に寿司や和食に最適ですので、ユネスコ世界無形文化遺産に登録された和食の主役としても期待されます。

ささ結は、農家、料理人そして大崎と世界を結び、お米の聖地大崎の「復興「創生」のシンボルです。復興事業で建設したカントリーエレベーターを駆使して、「ささ結」ブランドコンソーシアム事業」をフル展開します。

まずは、地元大崎で、ささ結の人気を確立させ、そして全国へ、世界へと発信し、日本一のお米を目指してまいります。

大崎市長 伊藤康志